

# 知行合一

学校教育目標

潤いと輝きにあふれる学校

芦北町立田浦中学校  
学校だより 第5号  
令和元年6月1日  
文責 校長 畑口益喜

ほととぎす 鳴きつる方をながむれば ただありあけの月ぞ残れる  
後徳大寺左大臣（百人一首 81）

**大雨の季節です。**臨時休校以外でも、自宅への被害や登下校時に危険があると保護者が判断された場合は、無理に登校させないでください。なお、その場合は必ず学校まで連絡をお願いします。

## 『ぐっすり寝』、『すっきり起き』、『しっかりご飯』

6月は1年で唯一、祝祭日が無い月です。期末テスト・郡市総合体育大会など、心と体が休まらない時期、疲れがたまる時期です。布団以外での『うっかり寝』、遅刻ぎりぎりでの『びっくり起き』、好きなものだけの『ばっかりご飯』にご注意を。

ところで、6月は梅雨なのになぜ水無月？この「無」は、「～の」にあたる連体助詞「な」で、「水の月」という意味だそうです。田浦弁で言うと「ん（ネコン子、蜂ん巣、おぎゃんと、わぎゃんと等）」ですね、たぶん。

## 『保護司会・更生女性の会』講話

11日（火）、毎年7月の『社会を明るくする運動』強調月間を前に、芦北町保護司会と更生女性の会の皆さん、合わせて16名が来校され、講話が行われました。

DVD『二つの道』の視聴を通して、①**保護観察**（更生保護の中心となる活動で、犯罪や非行をした人に対して、更生を図るための約束ごと（遵守事項）を守るよう指導するとともに、生活上の助言や就労の援助などを行い、その立ち直りを助ける。）

②**生活環境調整**（少年院や刑務所に収容されている人が、釈放後にスムーズに社会復帰できるよう、釈放後の帰住先の調査、引受人との話し合い、就職の確保などを行い必要な受入態勢を整える。）

③**犯罪予防活動**（犯罪や非行をした人の改善更生について地域社会の理解を求めるとともに、犯罪や非行を未然に防ぐために、「講演会」、「住民集会」、「学校との連携事業」などの犯罪予防活動を促進する。）、といった保護司の役割について学ぶことができました。



## スマホに弱い大人の教科書

5日（水）、熊本県学校等警察連絡協議会に出席しました。県教育委員会からはスマートフォンの利用5か条・くまもと家庭教育支援条例等について、熊本県警からは熊本県学校・警察相互連絡制度、児童虐待への対応（※通告義務）、自転車の安全利用対策等について説明がありました。

熊本県警のHPに『肥後っ子サポートセンター』のページがあります。子どもたちと保護者にとって、とても役に立つ情報がたくさん載せられています。そこに『スマホに弱い大人の教科書』という資料があり、とても分かりやすい内容となっています。田浦中のHPからも開くことができますので、ぜひお読みください。



※児童虐待の防止等に関する法律（第6条：児童虐待に係る通告）

児童虐待を受けたと**思われる**児童を発見した者は、速やかに、これを市町村、都道府県の設置する福祉事務所若しくは児童相談所又は児童委員を介して市町村、都道府県の設置する福祉事務所若しくは児童相談所に通告しなければならない。

## 【秘密の部屋】15年ほど前、子どもが父の日にくれた「マッサージ券」が出てきました。

### 【たのうらっ子】010528

昨夜、『地域学校協働本部地域教育協議会及び実行委員会』が開かれました。これは、文科省が行う事業の一環として、平成20年度から3年間の『学校支援地域本部事業』の指定を受け、さらに平成23年度からは、芦北町の補助を受けながら今日まで継続している事業です。芦北町では田浦中校区が先行して実施しており、町では他校区にも広めていきたいとのことでした。

この期間の中学校長は6人、小学校長は5人です。中心となって事業をつないでこられたのは地域の皆さん。特に歴代のコーディネーターである平賀さん、木村さん、大津さん、大木さんのご尽力には頭が下がります。

会の中で、委員から「田浦といえば『マル田』のマークの甘夏ミカン。特産品を活用した特色ある教育ができないか。」との意見が出され、他の委員も賛同されました。

今年度、芦北教育事務所からは取組の方向として“「認め・つなぐ・明るい」教育の実現～芦北だからできる教育の実践を通して、芦北から新しい教育の風を～“が強く打ち出されており、それを受けて田浦中では、地域の「モノ・コト・ヒト」を活かして、自立につなぐキャリア教育の推進に力を入れようと考えていたところでした。地域の皆さん方と、こんな力がある「たのうらっ子」にしたいという願いを共有し、支えていきたいと思えます。田浦の皆さん、どぎゃんこつでんよかですけんかせしてください。(H)

### 【イモリとヤモリ】010531

カエルの大合唱シーズンが始まりました。妻の出身地、湯の児は、海沿いのためカエルはあまり見かけません。田浦に泊るとカエルの声で眠れないと言います。私は慣れていないため、言われないと気になりません。親の小言のように聞き流すことができます。



2年担任のK先生は前の学校で、ヤモリを飼っている学級があって、かわいいからと手渡されたそうです。「苦手だったけど、30分くらいで慣れてかわいく思えてきた。頭に載せるくらいはできる。」とのこと。素晴らしい。その中で「イモリだったかな？ヤモリだったかな？」という話になりました。(後日、トカゲだと言うことが判明しました。)

家の壁に張り付いていて、虫などを食べるのがヤモリ（家守）で爬虫類です。白っぽい体と、まん丸い目玉のとともかわいい顔をしています。水辺に棲んでいるのがイモリ（井守）で両生類です。お腹が赤いので、子どもの頃は「アカハラ」と呼んでいましたが、赤いお腹は毒（テトロドトキシン）を持っているアピール。再生能力が高く、トカゲの尻尾は骨まで再生できませんが、アカハライモリは完全に骨まで再生するそうです。エックスメンに入れそうです。

子どもの頃、雨が降った後に大岩でアカハラを大量に見かけたことがありました。とにかく「ばっ！」と声が出るくらいたくさん。さすがに30分くらいでは慣れるのは無理でした。(H)

### 【探検】010608

6日（木）の10時頃、外から元気な声が聞こえてきました。覗いてみると、田浦小学校の2年生が「生活科」の授業で中学校にやってきたところでした。施設見学で校舎や武道館、体育館を外から見て回る予定だったのですが、せっかくなので校長室にも入ってもらいました。小2担任のY先生は水俣二中時代の生徒なので、成長した姿を見るのも楽しみにしています。

小学生とは合同遠足や相互授業参観で顔見知りなので、学校外で会っても、しっかりあいさつをしたり、話しかけたりしてくれてとても嬉しいです。今日は「〇年生の〇〇の弟です！」「〇年生の〇〇の妹です！」「お兄ちゃんは真面目に勉強していますか！」などと、それぞれ自己紹介が始まりました。「とても頑張ってるよ！」と答えると嬉しそうな顔をしました。

廊下を通る中学生が立ち止まるように、校長室周辺にはいろいろなものを置いているのですが、小2の子どもたちもそれらに興味を示し、矢継ぎ早に質問されました。

最後にみんなで「手出し（楽）い」ポーズで写真撮影をしました。(H)